

1. 短期予測 (p. 1)

- ① [ドル安・ユーロ高で欧州経済は大打撃]
ブッシュ政権はイラク戦の信賞必罰外交を推進。独仏経済を狙い撃ち、ポーランド、イタリア、スペイン等友好国には自由貿易協定促進など飴を与える。
- ② [小泉首相、自衛隊のイラク派遣をブッシュ米大統領に約束、北鮮制裁でも協調] 日米首脳会談で、イラク派兵と北鮮制裁を公約。横田基地軍民共化
提案など、小泉は石原都知事のお株を奪う作戦で9月総裁再選をねらう。
- ③ [小泉政権、政府発行通貨の実現を模索]
財政逼迫の中、中共や欧州が吐き出す米国債を買い受ける日本。政府通貨発行+円安=ドル高の小誌提案を小泉はブッシュ政権に打診か。
- ④ [インドネシアとフィリピンの紛争は早期収束の可能性大]
アチェ独立運動は天然ガス利益還元要求の条件闘争派が多数。アロヨ政権は親米派で、北鮮=アルカイダ=アブサヤフを米比共同で叩く。

2. 展望①アメリカ帝国の現状と そのグランド・ストラテジー (p. 4)

- ① [イラク制覇とその経済的帰結]
イラク制覇の結果、アメリカは油田確保、石油価格決定権掌握、さらにドル=石油本位制を死守、エネルギーの世界ヘゲモニーを確立した。
- ② [アメリカ帝国と超限戦、そしてユダヤ問題の最終解決]
9・11事件以降、世界は第4次世界大戦に突入。世界帝国アメリカはWASP的価値観を維持しつつも、宗教、民族間の均衡に腐心。イスラエルを守るナショナリスト・ユダヤ人の安全を守り、反国家的根無し草ユダヤ人と対決するブッシュ。対イラク戦圧勝でアメリカは中東和平実現にも本腰。
- ③ [ブッシュ政権の二国間主義とグローバリズムの終焉]
アメリカ保守派は元来国連等には不信感。今後は気の合う二国間での交渉が主に。テロ戦争、SARS蔓延で無制限なグローバリズムは終焉した。

3. 展望②国内情勢 (p. 9)

ブッシュ再選に向け日本は米経済成長のエンジン役を公約。デノミ施行による換物インフレ、景気回復をねらう。北朝鮮製薬物問題で「小泉暗殺予告」も。池田大作重病説は自作自演。ノーベル賞獲り、長男世襲への布石。

4. 展望③イラク後の米露関係と イランの核開発問題

(p.13)

イラクを巡る米英と仏独露の対立は米露関係の極端な悪化にはならない。イラクの核開発に対しても米露は核拡散封じ込めで共同歩調をとると予測。

